

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月22日 (2009.1.22)

【公開番号】特開2007-155846(P2007-155846A)

【公開日】平成19年6月21日 (2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2005-347219(P2005-347219)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 21/10 (2006.01)

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 1 1 4 Z

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 21/00 3 1 2

G 0 3 G 15/08 5 0 7 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月28日 (2008.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 像担持体上の静電像を第 1 トナーで現像して第 1 トナー像を形成するとともに、前記第 1 像担持体上の第 1 トナーを回収する第 1 現像器と、第 2 像担持体に接し、前記第 2 像担持体上の第 2 トナーを除去する除去手段と、前記除去手段によって前記第 2 トナーの除去された前記第 2 像担持体上の静電像を第 2 トナーで現像して第 2 トナー像を形成する第 2 現像器と、前記第 1 像担持体上の前記第 1 トナー像を転写媒体に転写し、前記第 2 像担持体上の前記第 2 トナー像を前記転写媒体に転写する転写手段と、を有する画像形成装置において、

前記第 2 像担持体から前記転写媒体に転写された前記第 2 トナー像に重ね合わせて前記第 1 像担持体から前記第 1 トナー像を転写可能であって、

前記第 1 像担持体の移動する速さと前記転写媒体の移動する速さとの差は、前記第 2 像担持体の移動する速さと前記転写媒体の移動する速さとの差よりも大きい、

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記第 1 トナーの明度が、前記第 2 トナーの明度よりも低い、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記転写媒体は、中間転写体である、
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記転写媒体は、記録材である、
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、第1像担持体上の静電像を第1トナーで現像して第1トナー像を形成するとともに、前記第1像担持体上の第1トナーを回収する第1現像器と、第2像担持体に接し、前記第2像担持体上の第2トナーを除去する除去手段と、前記除去手段によって前記第2トナーの除去された前記第2像担持体上の静電像を第2トナーで現像して第2トナー像を形成する第2現像器と、前記第1像担持体上の前記第1トナー像を転写媒体に転写し、前記第2像担持体上の前記第2トナー像を前記転写媒体に転写する転写手段と、を有する画像形成装置において、前記第2像担持体から前記転写媒体に転写された前記第2トナー像に重ね合わせて前記第1像担持体から前記第1トナー像を転写可能であって、前記第1像担持体の移動する速さと前記転写媒体の移動する速さとの差は、前記第2像担持体の移動する速さと前記転写媒体の移動する速さとの差よりも大きいことを特徴とする。